



友末 瑛士さん
国東高校ウェイトリフティング部

友末 瑛士さん（3年生）は、入学と同時に筋肉トレーニングがしたくて、ウェイトリフティング部に入部しました。入部した直後は順調に記録が伸びていきましたが、その後中々記録が伸びなくなりました。2年生になり、県内強豪校の顧問をしていた土居雅典先生の指導を受け、併せて国東ウェイトリフティング場で練習が出来るようになると、成績が急激に伸びました。そして、今年3月に行われた全国ウェイトリフティング競技選抜大会では5位に入り、インターハイの出場権を獲得しました。

瑛士さんは、「個人の目標としては、6月にアストくにさきで行われる九州大会での優勝。そして、全国大会で5位以内に入ることです。部の目標としては、全員がベストの記録を出して団体優勝したい」と話していました。



ウェイトリフティング部のみなさん



野上 昭一さん
写真工房 のがみ

野上 昭一さんは、親戚の方から高校入学祝いにカメラをいただき、写真を撮ることが趣味になりました。その趣味を活かし、国東町内の写真店で現像焼付を学び、同時に写真グループでも技術を磨き、平成5年11月に「写真工房のがみ」を開店しました。当時、市内では珍しかったパソコンでの写真加工や写真の楽しみを知ってもらうために開催した写真教室を通じて、地元の皆さんに親しまれるようになりました。

昭一さんは、「生まれつき体に障がいがあり、自分に適した仕事を模索する中で辿り着いたのがカメラマンでした。年を取って体は思うように動かなくなってきましたが、息子が一緒に働くようになったので、これからも自分が理想とする写真を追いかけていきたい」と話していました。



左から昭一さんと息子の雄一郎さん



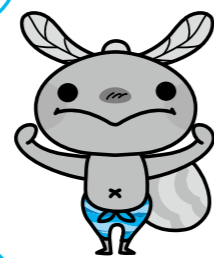
西川 直輝さん
ニュージャパンマリン九州株式会社
(安岐町下原)

西川 直輝さんは、田舎暮らしに憧れて10年前に大阪府から国東市に移住しました。そして、長年の夢だった木材彫刻の活動を始めました。その特技を活かして、2年前にニュージャパンマリン九州株式会社に入社し、船を作るための木型の製作を行っています。昨年新発売になったプレジャーボートの開発にも力を発揮し、今後の木型製作の中心的存在になることが期待されています。また、木材彫刻の技術を買われて、知り合いの方から看板製作の依頼も受けるようになりました。

直輝さんは、「木を扱うのが大好きで、自分が成形した作品を通じて人に喜んでもらうのが目標です。そのためにも、仕事では完璧な木型を作るように技術を磨き、地域でもっと喜んでもらえる看板をたくさん作りたいです」と話していました。



直輝さんが製作した看板と安岐中央こども園の園長、園児



各分野で光を放っている 人にスポットをあてる

国東の輝きひと

Vol. 1



川原 慎也さん
国東町大恩寺

川原 慎也さんは、大分県新規就農制度の中で国東市のこねぎトレーニングファームに興味を持ち、平成27年4月に福岡県から移住してきました。それから、1年の研修を経て、国東町富来地区でこねぎ栽培を始めました。こねぎトレーニングファームで習得したことを基礎に、徐々に自分独自の工夫を加え、平成29年は、経営安定の目安となる年間出荷量4トンをはるかに超える約5.4トンを出荷することができました。

慎也さんは、「こねぎ栽培を手伝うために移り住んでくれた父と母のためにも、一生懸命栽培に取り組んでいます。来年度には栽培面積を増やす計画も進めており、いずれは両親と一緒に住めるぐらいの一軒家を建てたいです」と話していました。



左から父の明夫さん、慎也さん、母のはる子さん